

令和元年11月13日

横手市議会議長 播磨 博一 様

出席議員代表

総務文教常任委員 塩田 勉

『市民と議会の懇談会』 報告書

「市民と議会の懇談会」の実施状況を下記のとおり報告いたします。

1. 開催日時	令和元年9月30日（月）
2. 開催場所	館合地区交流センター
3. 出席議員	総務文教常任委員 塩田 勉、遠藤忠裕、高橋聖悟、土田百合子、大日向香輝 広報広聴委員 立身万千子
4. 申請団体	つきの木会女性部（館合地区女性団体）
5. 参加人数	17人
6. テーマ	「公共交通」について
7. 懇談会の内容	司会：館合地区交流センター館長 ①議会側のあいさつと参加者の紹介 ②つきの木会女性部からのあいさつ ③前回の意見交換を踏まえた議会からのお知らせ ④グループごとに意見交換（3グループ） ⑤各グループの話し合い内容の発表 ⑥議会より閉会挨拶

8. 意見交換の主な内容

■経過説明

- ・平成30年12月に引き続きの実施希望を受けての開催となった。
- ・今回は前回の実施以降、市によるスクールバスを活用した交通空白地帯への有償運行が計画されており、当該地区も運行範囲となる予定であることから、そういった新たな動きを踏まえて意見交換を行った。また、多様な意見を聴取するため、3グループに分かれて実施した。

■主な意見

【公共交通について】

○スクールバスの実証実験について

- ・デマンド交通に比べて、こんなに安く乗れてよいのかという思いだ。良かった。
- ・帰りの時間に間に合わなくなることが心配だ。
- ・買い物だけの場合、待ち時間が長くなるなどという印象。
- ・デマンドとの組み合わせも考えられる。それでも経済的に助かる。
- ・200円で移動できることは大変ラッキーだ。
- ・館合は公民館と郵便局があるからよいが、ほかの地区は冬季間はどこでバスを待つのが心配だ。
- ・ステップが高くてバスの乗り降りが心配。
- ・通学時間も考えると病院発が11時か14時ころだとちょうどいいのだが。
- ・ボタンがないので降りるときは、どうやって知らせるのだろうか。
- ・降りるときは「次降ります」の小旗を座席の数カ所に配置してはどうか。
- ・細い路地もある。事故の無いように配慮してほしい。
- ・地区の声が届いたことが素晴らしい。
- ・フリー乗降区間は手旗を掲げるなどして知らせてはどうか。
- ・高齢者はバスの乗降の際段差が危なくないか？ステップを用意することができれば安心なのだが。
- ・雄物川高校行きの路線もほしい。
- ・福地コミュニティセンターが間もなく完成する。福地も交通空白地帯なので、その路線も必要になってくるのではないか。
- ・実証実験なのでたくさん乗って実績を作らないといけない。

○デマンド交通について

- ・デマンド交通の料金体系がいまだによくわからない。
- ・デマンドタクシーは計算が難しい。

【その他】

- ・地元に残すため、実業高校は多く必要だ。













公共交通

- ・ 安くてもいいが...
- ・ 帰りの時間が合うように
例: 8:30 → 14:00 通学
通勤等
- ・ 乗りかえの感想は必要
- ・ 用事が終わった後が問題

・ 下りの時間帯は少ない

乗降の場所

- ・ 薄井地区に何の所かバス停あるといい
- ・ スクールバスの停留所
公民館
郵便局
- ・ 冬場は待機場所心ない大変
- ・ バスの乗降りが、^{時間かかる} 雨の
介添必要 ^{車に倒る危険}
- ・ 病院発
11~14時の向かとはよい

平鹿 - 巡回バス (マイクロバス)

マイクロバス

普通より安い
料金システム、難しい
複雑

- ・ 降りるとき、止り
降りるボクが悪い (はいか)
- ・ 安全性の問題

